

試合番号 : 285		試合会場 : 有明コロシアム				観客数 : 5,243						
開始時間 : 12:00		終了時間 : 14:29		試合時間 : 02:29		主審 : 服部 篤史		副審 : 浅井 唯由				
ウルフドッグス名古屋		通算	1勝	0敗	25	第1セット	27	日本製鉄堺ブレイザーズ		通算	0勝	1敗
この素晴らしいチームがこのファイナルステージで闘ったことを誇りに思います。試合の中でミスがあつたが、選手達は積極的に闘い、勝利を掴み取ってくれました。今年2連覇という目標を見えないものも闘っていたので、順風満帆ではなかったと思います。このファイナルステージへ進出する過程で、多くの壁を乗り越え、最終的にファイナルへ進出しました。一人ひとりが少しずつ成長したと思います。今日の試合においても、そのマインドは変わらず、必死にボールを撃ててくれました。バレーボール界発展への成功に必ず繋がると信じています。そのチームを支えてくださったすべてのWD名古屋ファンに感謝を伝えたいです。		ポイント :		3		2		監督コメント		今シーズン、長きにわたる戦いでしたが、本当にたくさんの応援ありがとうございました。我々も、サポーターの皆さんも、この結果には満足していません。また一歩一歩階段を登って、頂点を目指してまた歩み出します。本当にありがとうございました。		
5ヶ月間に及ぶ2023-24シーズンの最終戦である、ウルフドッグス名古屋と日本製鉄堺ブレイザーズの5位決定戦。WD名古屋はセッター中野がトスを満遍なく散らし、色々なポジション、メンバーを駆使していく。日鉄堺BZは、パーンが最高到達点382cmの圧倒的高さから繰り出されるスパイクを軸に攻撃を組み立てる。第1セットは互いに譲らずデュースもつれたが、最後は日鉄堺BZ高野のブロックが決まった。第2セットから猛威を奮っていたWD名古屋水町のアタックが、2連続得点の足がかりとなる。山崎のバックアタックが効果的に決まり、リードを保つ。対する日鉄堺BZはこのセットからスタートの難野が活躍をみせるが逆転には至らなかった。第3セットもWD名古屋水町の勢いは止まらない。2連続サーブエースが飛び出し、椿山もサーブエースで得点し流れは一気にWD名古屋へ。王のスパイクも要所で決まり、このセットはWD名古屋が圧倒した。第4セットに入り、日鉄堺BZは中盤15点までに5点をブロックで取り、完全に流れを掴みファイナルセットへ勝利の望みを繋げた。先のセットの勢いそのままに日鉄堺BZの渡邊がブロックを決め、スタートした第5セット、WD名古屋はベテランの近のスパイク、主のブロックで連続得点をしリードする。中盤に日鉄堺BZは渡邊、山口の連続ブロックで食らいつく。最後までつれるが、相手のミスを見逃さなかったWD名古屋のチャレンジが成功し、接戦をものにしたWD名古屋が5位となった。												

試合番号 : 286		試合会場 : 有明コロシアム				観客数 : 5,243						
開始時間 : 16:10		終了時間 : 18:38		試合時間 : 02:28		主審 : 山本 晋五		副審 : 原 啓之				
JTサンダーズ広島		通算	0勝	1敗	25	第1セット	17	東レアローズ		通算	1勝	0敗
自分にとってJT広島で戦うV.LEAGUEの試合は、今日の3位決定戦が最後になったが、勝利することができなかったことは本当に悔しい。勝利した東レアローズにはおめでとうと言いたい。チーム、ファン、関係者、すべての皆様に感謝いたします。2年間本当にありがとうございました。ファンの皆様、これからもチームへのご支援をよろしく願っています。		ポイント :		2		3		監督コメント		今日の試合は3位決定戦ということで何が何でも勝ちたい一戦となりました。1セット目はその気持ちが出過ぎてしまい、サーブミスが多く、相手に簡単にサイドアウトを与えてしまったのが良くなかったが、それ以降はサーブも入り始め、我々の守備力が機能したことが最後のフルセット勝利につながりました。半年間の長いシーズンでしたが、この中で本当に選手たちが成長してくれました。この成長が最後に3位を取り切れたと思います。ファンの皆様も本当にありがとうございました。今後も東レアローズの応援よろしく願います。		
第1セット、JT広島は序盤に3連続得点を上げリードする。東レもパダルや富田のアタックで応戦するが、JT広島はラッセルのサーブエースなどで点差を広げる。東レは高橋のブロックで得点するが追いつくことができません。JT広島がセットを先取る。第2セット、東レは西本が躍動し、序盤はリードする。JT広島は三輪や安永のブロックなどで流れを呼び、点差を追いかける。中盤、東レは4連続得点を上げ、点差を広げる。流れを変えたいJT広島は坂下、金子を投入して一度は3点差まで縮めるが、東レがそのまま逃げきりセットを奪取する。第3セット、JT広島は前田、東レは酒井が互いに攻撃陣を操り、序盤は一進一退の攻防となる。中盤、東レは富田のサーブエース、西本のブロックで追いつくも、JT広島は唐川を中心にボールを繋いで点差を広げる。終盤、東レは同点とし勢いを取り戻すが、チャレンジの応酬でJT広島に流れが傾く。最後はラッセルのアタックが決まり、JT広島がこのセットを取る。第4セット、一進一退の攻防の中、小澤、西本のブロックが随所で決まり、東レが僅差でリードする。対するJT広島も追いつけるがパダルや小澤の勢いを抑えることができず、東レがこのセットを取り、ファイナルセットの勝負に持ち込む。第5セット、互いに譲れない展開の中、両チームの熱いプレーが観客を沸かせる。ラッセルのサーブエースで流れを掴んだJT広島に対し、東レは難波のアタックで応戦する。最後はパダルがアタックを決めて熱戦を制し、東レが3位入賞を果たした。												

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :						
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :				
		通算	-勝	-敗		第1セット				通算	-勝	-敗
		ポイント :						監督コメント		ポイント :		
監督コメント												
要約レポート												

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :						
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :				
		通算	-勝	-敗		第1セット				通算	-勝	-敗
		ポイント :						監督コメント		ポイント :		
監督コメント												
要約レポート												